

# Nutrition Support Times

## 食道がんの栄養



NST: Nutrition Support Team という言葉もすっかり市民権を得て、各科の周術期管理における栄養管理についての意識変革が随分進んできたと思います。東別府チェアマンを中心に積極的に栄養サポートの推進・介入を行って貰っており、数字に表れない部分も含めて患者さんの状態改善に役立っていると考えています。

食道癌手術は、手技や術後管理の進歩により以前ほどの危険はなくなったものの、依然として消化器外科領域ではもっとも侵襲の大きな手術で、未だに術後合併症に難渋する症例も少なくありません。消化器外科医である我々の手に余る症例もしばしば経験しており、これに対応するために、麻酔科、呼吸器内科、循環器内科、耳鼻科、形成外科などの他科との連携が非常に大切になっています。NSTによる栄養管理もたいへん重要で、今回は食道切除胃管再建手術の周術期栄養管理について概説します。

食道の通り道である食道の癌によって術前から栄養障害を伴っていることが多く、また高齢者、アルコール多飲、喫煙歴の長い症例も多く、全身状態不良症例が多い傾向があります。また、食道手術は頸部・胸部・腹部に渡る手術操作で組織損傷も

大きく、手術時間も長く、手術侵襲は多大です。このため、全ての食道癌手術予定患者さんには栄養療法への適応があります。

術前から栄養状態を評価し、必要症例には積極的に経管栄養剤や点滴を行い、脱水・低栄養の改善を図ります。呼吸リハビリなどと共に、術前に栄養状態を整えておくことが術後を乗り切るために必須となります。手術時には、術後栄養管理のために用いる目的で空腸瘻造設を行います。これは栄養管理上非常に大きな武器となり、現在ではほぼ全例に行っています。逆に TPN 用の CV カテーテルは挿入が不要となりました。手術翌日から経腸栄養が開始可能となります。

術後は、たとえ経過が順調であっても、しばらく経口摂取は困難です。経腸栄養を中心に管理していきます。食道手術後は、縫合不全や喀痰喀出困難から無気肺、肺炎などの合併症を来すことがあります。これらはタンパク異化を亢進させるため、常に体重や炎症反応をモニタリングしながら、必要栄養量を投与していきます。術後1週間程で経口摂取が開始になりますが、食道切除後は、①残食道-胃管吻合部の違和感、②胃が細くなるための

小胃症状、③噴門切除のための逆流症状、④ダンピング症状、⑤神経麻痺のため誤嚥しやすい、と、健康なときに較べて栄養状態を悪化させる要因が発生します。少しずつ、慎重に勧める必要があります。この時期が最もこまやかな指導が必要になります。

経口的に 1000kcal/日以上が摂取できるようになれば、概ね退院可能な状態と言えますが、なるべく経腸栄養チューブを残して、栄養学的に問題がないことを確認してから外来でチューブを抜去する方針にしています。前述のような理由で、患者さんによっては、6ヶ月位の長期にわたって栄養補助が必要なこともあります。

このように、食道手術後は、他の消化器手術と違って、栄養管理が非常に重要です。鏡視下手術の導入などによって、食道癌手術の低侵襲下が試みられていますが、縦隔に対する侵襲など、基本的には過大なストレスが体の負担になる手術であることには疑いがなく、適切な栄養管理は、今後も食道癌治療の重要な柱であり続けるでしょう。NST チームの活躍に今後も期待しています。



外科 小林裕之



### NCM講演会

今回のテーマは下痢でした。特に経腸栄養を始めれば下痢はつきものだと考えられていますが、チェアマン東別府先生の講義からも、基本的なことを理解して生かせば、下痢の発生はかなり減らせるのではないかと思います。特に気をつけないといけないのは投与速度。重症であればあるほど1時間 100ml を超えた投与は下痢を起こすと言われてます。そういう方は持続投与でゆっくり投与してもらうことが大切です。また繊維の入っていない経腸栄養剤、脂肪含有量の多い経腸栄養剤も下痢を起こすことがあります。繊維の追加や他の栄養剤に変更も必要です。成分栄養剤は高浸透圧になっています。腸管を使わない絶食期間が長い方は特に下痢を起こしやすいので、投与には注意が必要です。ゆっくり等張にして始めるか、GFOなどから開始することが望まれます。その他薬剤や治療上引き起こすことがよくありますが、患者の負担となる下痢もなるべく避けたいところです。

### NCM 講演会予定

月日	内容	担当
11/26	呼吸器疾患の栄養	立川先生
1/28	脂肪乳剤について	東別府先生
3/4	感染と栄養について	武庫川女子大学 雨海先生

### NSTカンファレンス・回診

毎週水曜日 pm1:00~

8北(861) NSTカンファレンスルーム

### 編集後記

11月の天気の良い日曜日。七五三でお参りの家族。息つく暇なく毎日の中ホツとする光景を垣間見た。思わずもっていたデジカメでワンショット。楽しそう。

でも、今の子供たち千歳あめあんまり興味ないみたい。

